



浪江小による和太鼓の演奏



浪江中によるよさこいソーランの発表



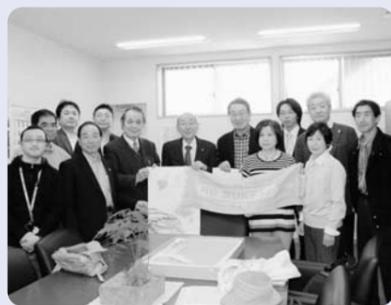
ふるさと浪江おどり隊会



「請戸小黒板レプリカ贈呈式」

原発事故と大震災の津波で大きな被害に遭った請戸小の黒板に、全国各地から訪れた警察官や自衛隊の方が書いた励ましの言葉を保存しようと黒板のレプリカが作られ、23日の十日市で披露されました。

これは、寄せ書きとして残して行ったメッセージを後世に伝えようと、町と地元のNPOが黒板のレプリカを作って保存することになったもので、東京日本橋ロータリークラブ様と東京渋谷ロータリークラブ様のご支援により作製し、町へ寄贈していただきました。



ありがとうございます
ごぞいまいた

原水爆禁止日本協議会様から仮設住宅へ、いわさきひろろカレンダーを寄贈していただきました(昨年に続き2回目)。



千葉県多古町議会様から町へ義捐金をいただきました。(浪江町民を含め、多くの方が多古町に避難している事を知り、議長を含め、議員14名の総意でふるさとの再生、再興のために使っていただきたいという思いにより、義捐金による支援をしていただいています。)

復興なみえ町十日市祭

11月23日、24日の2日間、二本松駅前周辺で復興なみえ町十日市祭が開催されました。

会場には多くの露店が建ち並び、浪江小・中学校の児童生徒による発表会や請戸小学校黒板レプリカ贈呈式が行われ、昨年に引き続き、町の伝統芸能やふるさと浪江おどり隊会による踊りなどが披露されました。

また、B-1グランプリin豊川においてゴールドグランプリを受賞した浪江焼麺太国より報告会が行われ、来場者にはなみえ焼そばが振る舞われ(1日先着600名)、2日間に渡りさまざまなイベントで賑わいました。



人権擁護委員による街頭啓発に、やなせたかしさんデザインの人権イメージキャラクター‘人KENまもる君’と‘人KENあゆみちゃん’が参加し、会場を盛り上げました。



浪江焼麺太国B-1グランプリ報告会

下村文部科学大臣、浪江小視察

12月9日、下村博文文部科学大臣が浪江小学校(二本松市)を訪れ、「ふるさとなみえ科」の授業を視察し、児童と言葉を交わしながら給食の時間を一緒に過ごしました。下村大臣は児童に対し、「ふるさととは一番の宝、大切なもの。次の世代に伝えられるよう勉強して、困難にめげず頑張ってほしい。」と述べられました。

また、校長室にて町長から下村大臣へ要望書を提出し、畠山教育長より学校教育の現状が報告されました。下村大臣は、「復旧復興にスピード感を持ち、国がしっかりフォローしていきたい。」と述べられ、国として教育現場を支援していく考えを示しました。



がんばれ!



皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

横山貴明さん(浪江町出身) 楽天入団を町長に報告

12月6日、プロ野球ドラフト会議において楽天から6位指名を受けた早大4年の横山貴明さんが両親と共に役場二本松事務所を訪れ、町長に楽天入団を報告しました。

横山さんは「早く1軍マウンドに上がれるように頑張ります。」と輝いた力強い眼差しで抱負を述べ、町長と固い握手を交わしました。



左から、母ゆかりさん、父民一さん、貴明さん

浪江町国民健康保険運営協議会(委嘱状交付式)

12月4日、役場二本松事務所会議室で浪江町国民健康保険運営協議会(委嘱状交付式)が行われました。

交付式では、町長から瀬野範真さんほか11名の委員の方へ委嘱状が手渡されました。

また、運営協議会も開催され、「浪江町国民健康保健税条例の一部改正について」などの議事が話し合われました。



「南津島の神楽」上演 (本宮市民俗芸能大会)

12月1日、本宮市しらさわカルチャーセンターで「本宮市民俗芸能大会」が開催されました。

今回は、東日本大震災からの復興の願いを込めて、南津島郷土芸能保存会による「南津島の神楽」と、ふるさと浪江おどり隊会による「ふるさと浪江」が上演されました。



「南津島の神楽」無病息災を願う獅子の舞とひょっとこで会場は大盛況でした。